

大会宣言

2008年8月30日から31日にかけて、私たちは、「オンブズがチェンジさせっぺ地方議会」というメインテーマを掲げ、第15回全国市民オンブズマン千葉大会を開催いたしました。

市民オンブズマンが95年に官官接待を問題にして以降、地方公共団体の違法支出や税金の無駄遣いが問題になるたび、議会の行政監視活動が機能不全に陥っていることが明らかになっています。私たちは、第5回大阪大会では「議員さん、何してはりまんねん。」を、昨年年第14回山形大会では「ほだな使い方いいんだが？政務調査費」をメインテーマに地方議会の問題を追及してきました。そしてこの間、観光旅行としか言いようのない「視察」、第二給与化した政務調査費や実費とかけ離れた費用弁償、地方行政を不当に歪める口利き問題など、住民の代表者にあるまじき議会・議員の実態が明るみになってきました。今や多くの市民が、現在の議会制度・議員活動に対し、不信の念をいただいているといっても過言ではありません。

私たちは、市民の立場に立った議会制度や議員活動へ向けた改革を求めるため、この大会に先立ち、47都道府県、17政令指定都市、39中核市の議会を対象に、①議会・議員活動に要する費用、②議会活動の活性化、③議会情報の透明度、④住民参加制度の充実度などについて、アンケート調査を実施しました。その結果は、市民感覚と乖離した費用感覚、多数派が支配し形骸化した議会審議、不透明な議員活動の実態、住民参加に背を向け十分な説明責任を果たさない議会・議員の姿を浮き彫りにするものでした。

また、分科会では、議員監査委員が、機能不全に陥っている監査制度の大きな要因であることが指摘されました。

私たち市民から見て、現在の多くの議会・議員活動はとうてい納得できるものではありません。

私たちは、今回のアンケート調査結果、この大会における参加者の討議をもとに、私たちが暮らす地域の議会の透明化を求めるとともに、引き続き連携し議会・行政の監視活動を続けることを誓い、以下の5点を宣言いたします。

記

- 第1 議会が言論の府としてふさわしい審議や討議を行い議会活動を活性化させるため、これを妨げる議会規則の内容や慣行を見直すよう求めること
- 第2 議会・議員の活動に注目し、議会活動が的確なものとなるよう監視すること
- 第3 議会活動に市民が参加しやすい制度・システムを確立し、議会や議員活動の透明化を求めること
- 第4 議員監査委員の廃止、市民感覚に反する費用の見直し等を求めるとともに、議会・議員活動で使用した費用の用途について、私たち市民が容易にチェックできる制度を確立させること
- 第5 議会・行政など地方公共団体に違法な財務会計行為が発覚した場合には、その是正を求め住民監査請求や住民訴訟に積極的に取り組むこと

2008年8月31日

第15回全国市民オンブズマン千葉大会参加者一同